

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：早産児の栄養に対するネーザルハイフロー療法とネーザル CPAP 療法の影響：後方視的検討

1．研究の目的

ネーザルハイフロー療法とネーザル CPAP 療法における、栄養および消化管有害事象について比較します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2015 年 4 月～2018 年 2 月までに「早産児の呼吸障害に対する抜管後の High-Flow Nasal Cannula 療法と Nasal CPAP 療法の多施設ランダム化比較試験」に登録された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 3 月

研究方法：上記の研究対象者の診療情報（3. 研究に用いる情報参照）を匿名化（だれの情報か直ちに判別できない）し、埼玉医科大学総合医療センター（責任者：難波文彦）にパスワードをかけてメールで提供します。埼玉医科大学総合医療センターでは協力施設より収集した情報を基に、栄養および消化管有害事象について比較します。

3．研究に用いる情報の種類

母体基本情報：妊娠回数、分娩回数など。

患児基本情報：在胎期間、出生体重など。

患児評価項目：経口哺乳開始日齢、経管栄養終了日齢など。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター（責任者：丸山秀彦）
埼玉医科大学総合医療センター（責任者：難波文彦）
東京女子医科大学母子総合医療センター（責任者：和田雅樹）
東京都立小児総合医療センター（責任者：近藤昌敏）
日本大学医学部付属板橋病院（責任者：森岡一朗）
長岡赤十字病院（責任者：小林 玲）

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、7月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 新生児科 丸山秀彦
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7424）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 新生児科 丸山秀彦